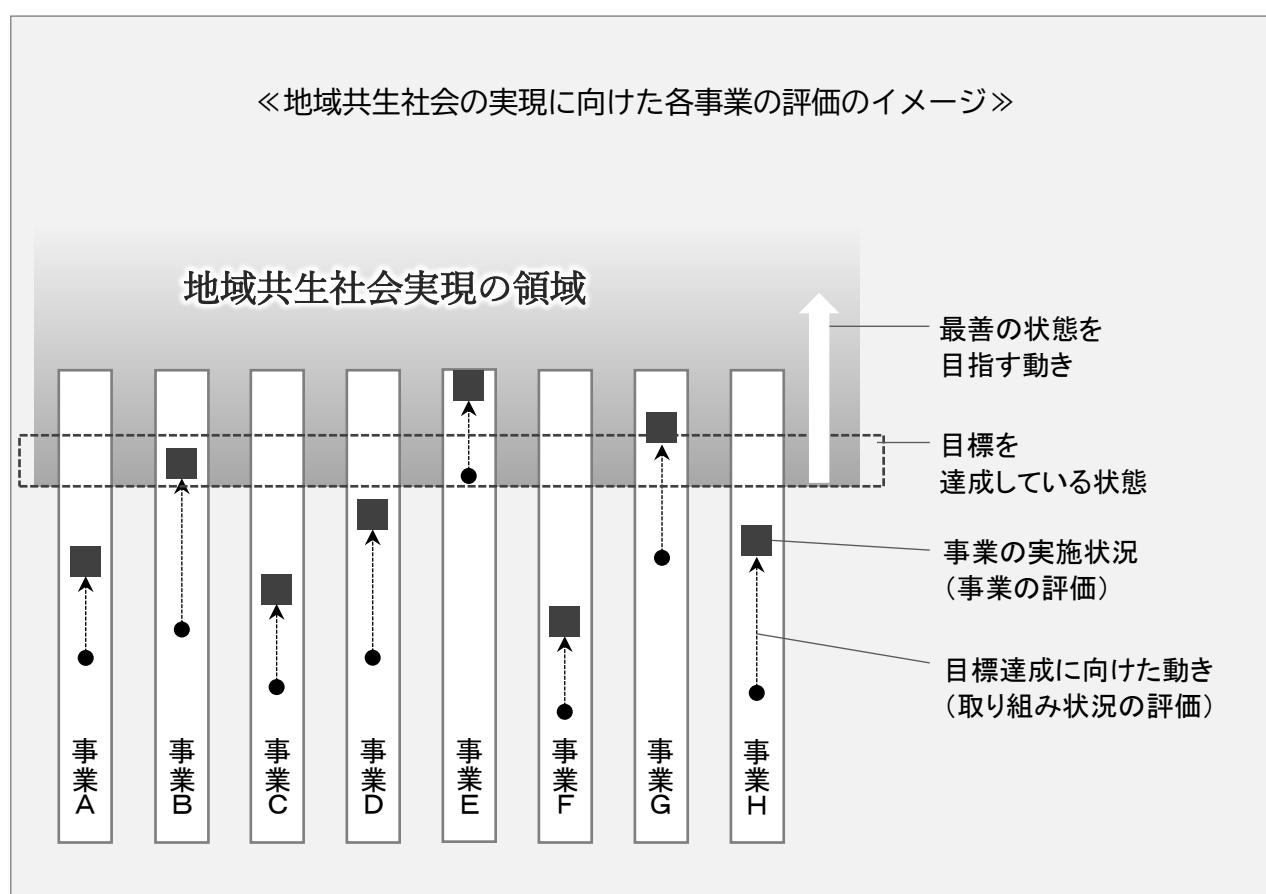


せんだい支えあいのまち推進プラン 評価の考え方

本計画が目指すのは地域共生社会の実現ですが、これは一定の到達点をもって「実現できた」とするものではなく、常にその最善の状態像を目指し続けるものと捉えています。

このことから、評価においては目標への到達度としての「事業の実施状況」に加え、目標あるいは最善の状態への推進力としての「課題への取り組み状況」を見ることとします。特に、本計画ではさまざまな「つながり」を大切にしていることから、各事業の課題への取り組みのうち「連携の取り組み状況」を独立した評価項目として設定しています。



評価は事業所管による自己評価が中心となることから、中間年度、最終年度において地域団体や支援機関等へヒアリングを行い、支援の現場での実感を把握することで、各所管において自己評価とのずれを補正し、次年度以降の取り組みに生かしていくことを想定しています。